

市民意見公募 (パブリックコメント)

みなさんからの

ご意見をお待ちしています

印西市環境基本計画 (素案)

本計画は「印西市環境基本条
例」に基づき、環境の保全に關
する施策の総合的かつ計画的な
推進を図るために策定する計画
です。

このたび、素案がまとまりま
したので、左記のとおり意見を
公募します。

■2月14日(木)まで。

環境保全課、各支所・出張所、
公民館・図書館、中央駅前地域
交流館、市ホームページで閲覧
可。

■市内在住・在勤・在学の人、市

内に事務所または事業所を有す
る人。

■2月14日(木) (消印有効) まで
に、任意様式または専用の様式
(市ホームページからダウン
ロード可) に住所・氏名・連絡
先を記入し、左記まで持参、ま
たは郵送・FAX・メールなど
で提出。また、閲覧場所にある
意見回答箱への提出でも可。

※必要事項が明記されていない
ものは無効。また、応募に要す
る諸費用は応募者本人の負担で
す。

■環境保全課環境保全班 (〒2
70-1396 印西市大森 2 3

開発許可・確認申請の一部の事務を市で実施

◆都市計画法に基づく開発許可
などの事務

平成 25 年 4 月 1 日から市は県より都
市計画法に基づく開発許可などに関する
事務の移譲を受けて「事務処理市」とな
ります。

今後は、開発許可などに関する事務
(申請書の受け付け・審査・許可・指導
など) の処理については、市が行うこと
となります。また「都市計画法に基づく
開発行為等の許可の基準に関する条例」
などの施行に合わせて、許可の基準およ
び申請書などの一部が変更となるのでご
注意ください。

詳しくは、市ホームページまたは下記
までお問い合わせください。

■建築課開発指導準備室 (☎内線 772)。

◆建築基準法に基づく確認申請
などの事務

開発許可と同じく、4 月 1 日から、市
は建築基準法第 97 条の 2 の規定による
建築主事を置き「限定特定行政庁」とな
ります。

今後は、小規模建築物 (2 階建ての木
造住宅や平屋建ての鉄骨造事務所など)
や工作物 (高さ 3m 以下の擁壁) などの
確認、検査のほか関係法令に基づく事務
を市が行うこととなります。

なお、そのほかのものについては、従
来どおり千葉県が行います。

詳しくは、下記までお問い合わせくだ
さい。

■建築課建築指導準備室 (☎内線 775)。



▲ごみ拾いを行いながら登校する
永治小児童のみなさん



▲感謝状を手にする
柏木校長

永治小に環境生活部長感謝状

平成 24 年 12 月 19 日に開催され
た「第 12 回千葉県廃棄物適正処
理推進大会」で、永治小学校が
「循環型社会形成推進功労者」
として、環境生活部長感謝状の
表彰を受けました。

「循環型社会形成推進功
労者」は、廃棄物の発生抑制(リ
デュース)・再利用(リユース)・
再生利用(リサイクル)の推進
に向けた活動を継続的に取り組
み、循環型社会の形成に向けて

大きな功績があった個人・団
体・事業所を指すものです。
同校では、児童と保護者や地
域のみなさんとが連携し、廃品
回収活動を 40 年以上継続して
行っています。また、登校時に
は通学路のごみ拾い活動、各学
級で出る紙やビニールごみを教
室内のリサイクルボックスで所
定の場所に収集、資源として回
収するなど、日常的で地道なリ
サイクル活動も併せて評価され、
今回の表彰に至りました。

■指導課指導班 (☎内線 5 3
3)。

千葉県循環型社会形成推進功労者等表彰

この度、計画の素案がまとま
りましたので、広くみなさんの
意見を公募します。

■2月8日(金)〜21日(木)。

※意見回答箱は「印西市環境基
本計画 (素案)」と別の箱です。
■教育総務課総務班 (〒270
1-1396 印西市大森 2 3 6 4
1-2 ☎内線 5 1 1・FAX 0 0
3 3 3 ☎kyousouka@city.i
nzai.lg.jp)。

印西市教育振興基本計画
(素案)

市教育委員会では、子どもが自
立するための基礎を育てるとい
う観点から、学校教育を中心
に今後 5 年間の施策を取りまと
める「印西市教育振興基本計画」
の策定に取り組んでいます。

この度、計画の素案がまとま
りましたので、広くみなさんの
意見を公募します。

■2月8日(金)〜21日(木)。

※意見回答箱は「印西市環境基
本計画 (素案)」と別の箱です。
■教育総務課総務班 (〒270
1-1396 印西市大森 2 3 6 4
1-2 ☎内線 5 1 1・FAX 0 0
3 3 3 ☎kyousouka@city.i
nzai.lg.jp)。

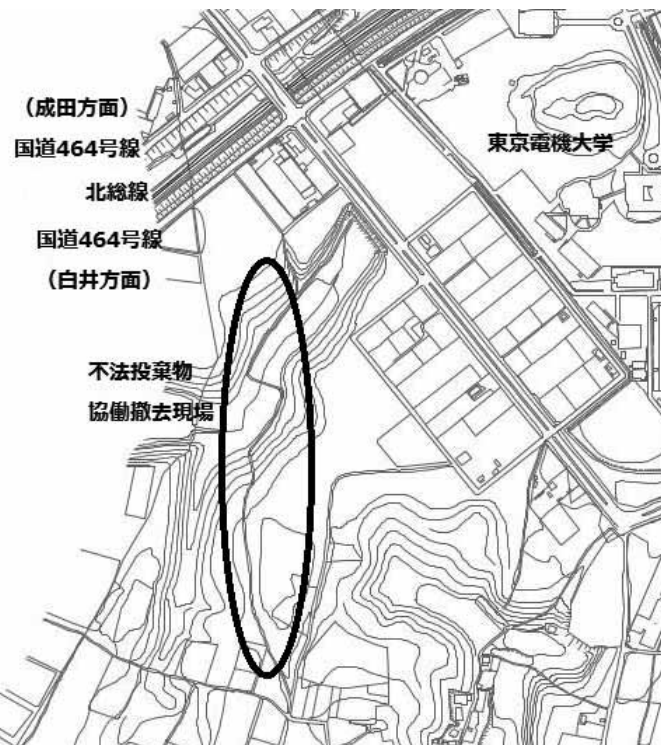
印西市企画提案型協働事業

武西地区の里山を守ろう!!

市では、市内の団体
から企画提案があった
事業を協働で実施しま
す。今回、武西地区の
里山に不法に投棄され
た廃棄物の撤去・清掃
作業を、市内の団体と
市との協働で実施。
不法投棄物の放置は、
新たな不法投棄を呼び、
景観悪化にとどまらず、
自然環境にも深刻な影
響を及ぼします。
不法投棄物を撤去す
ることにより、本来の
美しい里山を保持して



不法投棄された廃棄物の
撤去・清掃作業参加者を募集



いくことが大切です。ご協力の
いただける参加者を募集します。
●企画提案団体：特定非営利活
動法人「谷田武西の原つばと森
の会」。

■3月3日(日)・午後1時〜4時。
※悪天候の場合は、3月10日(日)
に延期。
■武西地区 (右図参照)。
■団体での参加のほか、個人で
の参加も大歓迎です。
■手袋、マスクなどは各自で
用意ください。
■2月22日(金) (土・日曜日、祝
日を除く) までに、電話で左記
まで。
■クリーン推進課不法投棄対策
班 (☎内線 3 8 4)。

シリーズ・心の道標④

社会生活技能訓練 (SST; Social Skills Training) のご紹介

■社会福祉課障害福祉班 (☎内線 268)

日本では、精神に障がいのある人が社会から隔離されたり、必要な治療や福祉サービスを十分に受けることができない時代がありました。しかし近年、精神に障がいのある人の健康を守り、生活の質を高める治療、リハビリテーションが本格的に取り組みられるようになってきました。その背景には、人権思想の高まりとともに、薬物療法を始めとする精神障がいの治療、リハビリテーションの技術の進歩があげられます。このリハビリテーションの技術の一つとして SST があり、日本ではこの効果が認められ 1994 年 4 月より「入院生活技能訓練療法」として診療報酬に含まれて以来、さらに全国的な普及がみられています。

SST の目的の一つに「自分の考えや感情を、もっと上手に表現できるようになること」があります。SST の方法は主に、参加者の前に出て練習します。これをロールプレイと言います。参加者はロールプレイをよく見て、終わったらすぐに良かった点を出し合います。良い点が出し終わったら「こうすれば、もっと良くなる」ということを出し合います。

ロールプレイをするときのポイントとして、「視線を合わせる」「手を使って表現する」「身を乗り出して話す」「明るい表情」「はっきりと、大きな声で話す」などがあります。

プログラム中に進行役から、当てられて嫌な時は断ってもかまいませんし、途中で抜きたい時は合図(プログラムごとにルールがあります)をして抜けてもかまいません。このほかに前回から当日までの目標や課題(宿題)の結果を報告する時間もあります。

SST は現在、医療機関や各種の福祉施設・作業所・矯正施設など多くの施設で実践されています。精神に障がいのある人の自己対処能力を高め(エンパワメント)、自立を支援するために、この方法が広く活用されることが期待されています。

参考「わかりやすい生活技能訓練」金剛出版
著・成田地域生活支援センター 尾内保之氏 (精神保健福祉士)